

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	2,781 百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	453,926 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	2,781 百万円	
						交付率	45.0 %
						提案事業比率	0.0 %

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S	17,663 km ²	T	5 年
拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)		当該広域的地域活性化基盤整備計画の計画期間	
π : 3.14		令和3年度 ~ 令和7年度	
r: 最短距離	75		
拠点施設から都道府県の境界までの距離	75 km		
拠点施設から海岸線までの距離	173 km		
r ₀ :	10 km		
R:	$r \geq r_0$ ゆえ、75 km		

C	1,028.0 万円/km ² ・年度
単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額	
行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したもの(最新5箇年の平均)	

$S \times C \times T \times 0.5 =$	453,926 百万円
------------------------------------	-------------

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	6,180 百万円	$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	5,562.0
	提案事業(B)	0 百万円	$\alpha 2 = 12A / 11 =$	6,741.8
	合計	6,180 百万円	$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X): $\alpha / 2 =$	2781 百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位: km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
白川郷合掌造り集落	15	76	15
MIBOROダムサイドパーク	27	90	27
飛騨古川まつり会館	38	88	38
新穂高ロープウェイ	25	98	25
御岳濁河高地トレーニングセンター	25	164	25
下呂温泉合掌村	76	172	76

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値)

(単位: km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
旧大戸家住宅	76	172

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	白川郷合掌造り集落	所在地	大野郡白川村荻町
設置主体	白川村	管理・運営主体	白川村
拠点施設の区分	一団地の観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	観光旅客に対する観光案内 (法第二条第一項第一号ロ(1))
拠点施設データ	観光入込客数 : 1,888千人		
拠点施設の整備の有無	有・無	整備期間	令和4年度以降
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>「白川郷合掌造り集落」は、独特の景観をなす合掌造りの集落として知られ、富山県五箇山と共にユネスコの世界遺産に登録され、国内外から多くの観光客が訪れる岐阜県を代表する観光施設である。集落内には国指定重要文化財や県指定重要文化財が数多く存在している。</p> <p>当該施設は、岐阜県飛騨地方と富山県を周遊する昇龍道プロジェクトの主要な観光施設として位置付けられている。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>当該拠点施設は国道156号を通じ「MIBOROダムサイドパーク」へのアクセスルート上にあり、幅員狭小区間や道路線形が悪いという問題がある。また、国道360号を通じ「飛騨古川まつり会館」や「新穂高ロープウェイへのアクセスルート上にあり、こちらにも幅員狭小区間や道路線形が悪いという問題がある。これら問題の箇所を現道拡幅を行うことで安全で円滑な通行を確保し、アクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「飛騨古川まつり会館」、「新穂高ロープウェイ」及び「下呂温泉合掌村」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>国指定重要文化財の「旧遠山家民俗館」では、築194年の合掌造り名主住宅で囲炉裏を囲んで、白川産古代米やお豆腐、地元で採れた山菜料理など地元食材を楽しむことができる。また、「野外博物館 合掌造り民家園」では草木染め、わらぞうり作り等々、郷ならではの体験をすることができる。さらに、毎年10月には村全体で開催される天下の奇祭白川郷「どぶろく祭」を開催しており、参拝客や遠方からの来客のひとりひとりに、今年仕込まれた「どぶろく」が振舞われ、村人と一緒に盃がかわされ、例年多くの観光客で夜更けまでにぎわっている。また、白川村が防災協定を結んでいる民間会社と協力しヘリコプターによる遊覧飛行を毎年実施しており、日本人だけでなく海外の観光客にも高評価を得ている。</p> <p><将来></p> <p>エコツーリズム推進法認定団体として、国立公園、ダム湖・河川、山林などの豊かな自然環境を活用した自然体験エコツアープログラムを令和3年度より試行的に進めるほか、令和4年度以降の開設を予定している空き家の合掌造りを活用し白川村の魅力発信や観光案内を行うビジターセンターの整備を進め、エコツーリズムが新たな白川村の観光の柱の一つになるように育てる。この他、公衆無線LANや5Gの高速大容量通信環境を活用し、ITと観光を結び付けた付加価値の高い観光環境の整備を行うことで国際的な観光地としてさらに魅力が高まり、今後も多くの集客を見込むことができる。</p>			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	MIBOROダムサイドパーク	所在地	大野郡白川村
設置主体	電源開発株式会社	管理・運営主体	電源開発株式会社
拠点施設の区分	一団地の観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	観光旅客に対する観光案内 (法第二条第一項第一号ロ(1))
拠点施設データ	観光入込客数 : 11千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 「MIBOROダムサイドパーク」は「御母衣電力館」「荘川桜記念館」で構成されており、日本初の大規模ロックフィルダム「御母衣ダム」の建設時の詳細な工程や「御母衣発電所」の発電の仕組みなどを観光客にわかり易く展示・解説している観光施設となっている。さらに、ダム建設時に水没地から移植した「荘川桜」の移植に関する物語を紹介する映画の上映も行っている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は国道156号を通じ白川郷合掌造りへのアクセスルート上にあり、幅員狭小区間や道路線形が悪いという問題がある。また、国道156号や国道257号を通じ旧大戸屋住宅へのアクセスルート上にあり、こちらも幅員狭小区間や道路線形が悪いという問題がある。これら問題の箇所で見道拡幅を行い未改良区間を解消することで、安全な通行を確保しアクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」、及び「下呂温泉合掌村」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 「MIBOROダムサイドパーク」では御母衣ダムの歴史などを記録動画や展示パネルによりわかり易く知ることができる」が整備されており、同施設内には荘川桜についてもオリジナル映像やパネルで紹介している。これにより、ダム見学を目的で訪れた観光客にも荘川桜について紹介し更なる観光客の増加に取り組んでいる。 さらに周辺には荘川桜が植えられており、例年4月下旬の開花に合わせ、屋台も出店され、満開時には夜間のライトアップをされるなど、昼夜を通して楽しむことができる。また、荘川町まちづくり協議会及び荘川町観光協会により、「荘川ウォーク&ノルディック」と題しウォーキング周遊マップを作成しており、桜の季節以外にも観光客を呼び込む企画を行っている。			
＜将来＞ 「MIBOROダムサイドパーク」を管理している電源開発株式会社では、管理している各施設と著名人とのインタビュー及び動画を配信しており、コロナ禍においても企業及び施設のPRを行っている。その中で、今年度、荘川桜と若手書道アーティストの原愛梨氏において、MIBOROダムサイドパーク及び荘川桜についてPRされており、原氏が作成した「荘川桜書道アート」も公開されている。MIBOROダムサイドパークには、荘川桜の移植に関する物語を紹介する映画の上映も行っている観光施設であることから、このインタビュー及び動画により、今後MIBOROダムサイドパーク及び荘川桜への観光客の増加が見込まれる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	飛騨古川まつり会館	所在地	飛騨市古川町
設置主体	飛騨市	管理・運営主体	飛騨市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示、伝統芸能の公演 (法第二条第一項第一号口(2))
拠点施設データ	観光入込客数 : 21千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 飛騨古川まつり会館は、平成28年度にユネスコ無形文化遺産に登録された「古川祭り起し太鼓・屋台行事」を体験できる教養文化施設である。古川祭は、古式ゆかしい神事「御神輿行列」が中心となって、「動」の「起し太鼓」と「静」の「屋台曳行」が二大祭事として加わった三つの行事群からなり、4月19日、20日の2日間に渡って盛大に繰り広げられている。起し太鼓は、4月19日の夜、裸の男たちが大太鼓を載せた櫓を担ぎ、激しくぶつかり合いながら古川の町を駆け巡る。この起し太鼓は、祭りの始まりを知らせる目覚まし太鼓が起源といわれており、時代の変化とともに今のカタチへと変化した。古川では、祭りで使用する山車のことを「屋台」と呼んでいる。町中を曳行するだけでなく、屋台の上でからくり人形や子供歌舞伎などの奉納芸も執り行われている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は国道360号がアクセスルートであり、そこでは幅員狭小区間が存在し、線形が悪いという問題がある。現道拡幅を行うことで安全で円滑な通行を確保し、アクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」及び「下呂温泉合掌村」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 400余年の伝統をもつ古川祭は、「動」と「静」を表す祭と言われおり、「動」は、裸と裸の男がぶつかり合う、春を待ちわびたエネルギーが一気に噴き出す勇敢な裸祭「起し太鼓」、 「静」は動く陽明門と呼ばれる絢爛豪華な「屋台曳行」であり、毎年多くの観光客により賑わっている。祭屋台や行列については順序があらかじめ決められていることから、時間によりおおよその位置は予測することができたが、これまで正確な位置情報については把握できなかった。そのため、平成31年度からは、より古川祭を楽しんでもらえるよう、祭屋台や行列のオンタイムの位置情報をインターネットで閲覧することができる「古川まつり特設サイト」を開設するなど、更なる観光客の集客に力を入れている。			
＜将来＞ 古川まつり会館は、年に一度(4月19、20日)にしか見ることが出来ない古川祭をいつでも体験できるよう整備された施設である。令和2年6月1日にリニューアルオープンを行い、4Kシアターでの映像展示に加え、飛騨古川の町並みで象徴的な「白壁土蔵街」を再現したり、「からくり人形などの奉納芸」や祭りが生み出した独自の文化である「呼び引き」といった展示を追加するなどしている。当施設は、先述の通り最新技術による文化的資産の展示を行っている施設である。また、屋外施設となる「まつり広場」では「そば祭り」といった食のイベントを開催するなどしており、古川祭だけでなく、古川の人々や地域の魅力を感じられる施設となるような取り組みを行っており、古川祭の観光客の増加はもちろん、年間を通じた観光客の増加が見込まれている。今後は、同じユネスコ無形文化遺産に登録された他の祭りや連携できるようなイベントや、この施設が「にぎわい創出の場所」となるよう4Kシアターを活用したイベントの開催も予定している。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	奥飛騨温泉郷	所在地	高山市奥飛騨温泉郷新穂高温泉
設置主体	奥飛観光開発株式会社	管理・運営主体	奥飛観光開発株式会社
拠点施設の区分	一団地の観光施設 (法第二条第二項第二号)	広域的特定活動の区分	観光旅客に対する観光案内 (法第二条第一項第一号口(1))
拠点施設データ	観光入込客数 : 320千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 奥飛騨温泉郷は岐阜県高山市にある5つの温泉の総称であり、平湯温泉、福地温泉、新平湯温泉、栃尾温泉、新穂高温泉から構成されている。この中でも新穂高温泉にある新穂高ロープウェイは、昭和36年から地元市町村や企業などにより様々な検討が行われてきており、その結果昭和45年7月15日に新穂高ロープウェイは開業している。このロープウェイの開業により、奥飛騨温泉郷のイメージは一新され、続々と周辺にホテルや旅館の建設が開始され、温泉目的の観光客が中心であったが、県でも屈指の観光地になっている。			
＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該拠点施設は国道471号がアクセスルートである、そこでは幅員狭小・線形不良区間が連続し安全な通行に支障をきたしているという問題がある。現道拡幅を行うことで、通行の安全性を確保しアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」、「下呂温泉合掌村」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
＜現況＞ 当施設は、奥飛騨の雄大な自然を四季折々の景色や高山植物を楽しむことができる観光施設として、年間を通じ県内外から多くの観光客が訪れている。また、日本で唯一の2階建てゴンドラのロープウェイが特に人気であり、子供からお年寄りまで幅広い年代に気軽に標高2,000mを超える絶景を楽しむことができる施設として人気の高い施設となっている。			
＜将来＞ 当施設は1970年7月15日に開業し、今年の7月15日で開業50周年を迎えることから、今年の7月22日に日本唯一の2階建てゴンドラならびに第2ロープウェイ「しらかば平駅」のベーカリー店舗・駅施設をリニューアルオープンし、それに合わせて、多くの外国人観光客に対応するため、多言語対応並びにキャッシュレス決済可能な多機能自動券売機の導入などを進めている。これらの活動により周辺観光施設も含め観光活性化が期待できる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	御岳濁河高地トレーニングセンター	所在地	下呂市小坂町
設置主体	岐阜県	管理・運営主体	公益財団法人岐阜県スポーツ協会
拠点施設の区分	スポーツ施設 (法第二条第二項第一号)	広域的特定活動の区分	国際的又は全国的な規模の会議、研修会、見本市又はスポーツの協議会の開催 (法第二条第一項第一号イ)
拠点施設データ	観光入込客数 : 千人		
拠点施設の整備の有無	有 ・ (無)	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>御岳濁河高地トレーニングセンターは、蔵王坊平アスリートヴィレッジ(山形県)とともに、文部科学省から指定を受けている日本で2箇所しかない「高地トレーニング強化拠点」に位置する高地トレーニング専門の宿泊施設である。標高1,700mの高地環境を活かした様々なトレーニング方法を提案しており、低酸素トレーニングの有資格者も在籍している。高度なトレーニング施設ではあるが、ナショナルチームや実業団だけでなく、高校生も強化合宿の施設として訪れており、幅広い利用者が訪れるスポーツ施設である。</p> <p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>当該拠点施設は国道361号、一般県道御岳山朝日線及び一般県道濁河温泉線がアクセスルートであり、そこでは幅員狭小区間が存在し、屈曲部が連続するという問題がある。一般県道御岳山朝日線や国道361号は、バイパス建設を行うことで安全な通行を確保しアクセス性を向上させる。一般県道濁河温泉線は、待避所の設置、屈曲部の解消を行う。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」「飛騨高山」「下呂温泉」などその他飛騨地方の主要観光地への観光周遊ルートを強化する。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>御岳濁河高地トレーニングセンターは、高度な高地トレーニングを行う事ができるだけでなく、過去に「脱！メタボ合宿」を開催し、高地環境を活かした生活習慣病の改善を目的とした企画も実施しており、アスリートだけでなく一般の住民に対しても広く施設を提供している。また、施設の浴場では、加温も加水もしていない源泉かけ流し100%の濁河温泉を利用でき、近くには御岳登山口(小坂口)もあることから登山客にも人気の施設となっている。</p> <p><将来></p> <p>これまで、多くのアスリートや学生が当施設を利用してきたが、さらに令和元年9月には新宿泊棟が完成し、更なる高地トレーニング利用客の集客を見込むことができるようになった。今後のアスリートを育成するためにも非常に重要な施設であることから、今回の宿泊施設拡充はスポーツ施設の利用者をさらに集客できることとなる。</p>			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	下呂温泉合掌村	所在地	下呂市森
設置主体	下呂市	管理・運営主体	下呂市
拠点施設の区分	教養文化施設 (法第二条第二項第三号)	広域的特定活動の区分	文化的資産の展示 (法第二条第一項第一号ロ(2))
拠点施設データ	観光入込客数 : 176千人		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<p><概要及び整備計画></p> <p>下呂温泉合掌村にある旧大戸家住宅は、現在の白川郷か集落から南へ約10km南に位置する御母衣字上洞にあり、御母衣ダム建設の際に集落が離散し、保存管理が困難であったものを、保存展示するために解体移築したもので、天保4(1833)年から弘化3(1846)年まで13年をかけて建造されたものと「棟札」に記載されている。間口24.96m、奥行き12.27m、建平251,337m²の切妻茅葺合掌造りで、昭和31年に国指定重要文化財に指定されている。</p> <p>旧大戸家住宅が展示されている「下呂温泉合掌村」には、旧大戸家住宅を含む10棟の合掌家屋集落で、日本の原風景を再現した合掌の里となっており、昔ながらの合掌造りを身近に体験できる教養文化施設である。</p>			
<p><拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性></p> <p>当該拠点施設は国道257号がアクセスルートであり、そこでは幅員狭小区間が存在し、屈曲部が連続するという問題がある。バイパス建設を行うことで安全な通行を確保しアクセス性を向上させる。また、当該施設へのアクセス時の快適性を高めることに加え、「白川郷合掌造り集落」、「飛騨古川まつり会館」などその他飛騨地方の主要観光施設への観光周遊ルートを強化する。</p>			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
<p><現況></p> <p>下呂温泉合掌村では旧大戸家住宅を中心とした10棟の合掌家屋住宅を展示しており、当時の生活を知る貴重な博物館となっており、更に、国登録有形文化財の旧岩崎家、旧遠山家の板倉もあり、内部を公開している。また、その他にも、陶器の絵付け体験や小さな子供を対象とした陶器のマジック絵付け体験を開催しており、幅広い年代を対象として集客に力を入れている。また、2001年から「かなうわバット」という、東濃地方のヒノキを使った野球のバット型のお守りの販売を行っており、受験シーズンには多くの来場者が購入をしている。</p>			
<p><将来></p> <p>平成29年に終了した影絵昔話館「しらざき座」を有効活用しようと毎年様々なイベントを開催している。特に昨年2月～4月までの期間開催していた、土雛まつりが好評であり、岐阜新聞にも紹介されている。この地方の雛人形は、現在のような立派な段飾りのものはごく限られた一部の家にしかなく、多くの家には素焼きの土雛が飾られていた。このような背景から土雛祭は昔ながらの文化を学ぶことができる文化的資産の展示に合致する。この他にも、手ぶらで来て体験できる「和服姿de散策in下呂温泉&合掌村」を期間限定で開催しており、若い女性に向けてPRを行っているところである。この企画についても地元テレビで紹介されている。近年このようにメディアを通じてPRを行っていることから、今後観光客の増加が見込まれている。</p>			

(確認様式3)

道路

都市計画道路名又はその他道路名 注1)	番号	区間	道路区分 注2)	事業主体	事業手法 注3)	工種	延長 m	車道幅員		車線数		歩道幅員		交付事業費 百万円	交付事業における事業期間 (年度)	事業内容 注4)	都市計画決定 年月	広域的特定活動に伴う 人流・物流との関係性		整備効果等 注6)	供用等 注7)	備考 注8)
								整備前 m	整備後 m	整備前 車線	整備後 車線	整備前 m	整備後 m					自 (拠点施設)	至 注5)			
<道路>																						
一般国道156号	A11-001		国	岐阜県	—	改築	480	6.5	7.5	2.0	2.0	0.0	0.0	300	R3~R7	現道拡幅	—	日川郷合掌造り集落	MIBOROダム	未改良区間(L=480m)の解消	全線完成供用L=480m(R8.3予定)	T15=2,026台/日、K=0.51
一般国道257号	A11-002		国	岐阜県	—	改築	700	5.0	7.0	1.0	2.0	0.0	0.0	700	R3~R7	バイパス整備	—	MIBOROダム	下呂温泉合掌村	未改良区間(L=700m)の解消	全線完成供用L=700m(R8.3予定)	T15=1,615台/日、K=0.22
一般国道257号	A11-003		国	岐阜県	—	改築	850	5.0	7.0	1.0	2.0	0.0	0.0	800	R3~R5	バイパス整備	—	MIBOROダム	下呂温泉合掌村	未改良区間(L=850m)の解消	全線完成供用L=850m(R6.3予定)	T15=1,615台/日、K=0.22
一般国道360号	A11-004		国	岐阜県	—	改築	600	5.0	9.0	1.0	2.0	0.0	0.0	450	R3~R5	現道拡幅	—	御岳河川高地ト(ニニ)	飛騨古川まつり会館	未改良区間(L=600m)の解消	全線完成供用L=600m(R6.3予定)	T15=1,700台/日、K=0.21
一般国道361号	A11-005		国	岐阜県	—	改築	800	6.5	8.5	2.0	2.0	0.0	0.0	1,500	R3~R7	バイパス整備	—	日川郷合掌造り集落	飛騨古川まつり会館	未改良区間(L=800m)の解消	全線完成供用L=800m(R8.3予定)	T15=1,032台/日、K=0.21
一般国道361号	A11-006		地	岐阜県	—	改築	1,360	6.0	7.0	2.0	2.0	0.0	0.0	250	R3~R4	現道拡幅	—	御岳河川高地ト(ニニ)	飛騨古川まつり会館	未改良区間(L=500m)の解消	全線完成供用L=1,350m(R4.3予定)	T15=1,032台/日、K=0.21
一般国道471号	A11-007		国	岐阜県	—	改築	490	6.0	8.5	2.0	2.0	0.0	0.0	550	R3~R7	現道拡幅	—	飛騨古川まつり会館	奥飛騨温泉郷	未改良区間(L=490m)の解消	全線完成供用L=490m(R8.3予定)	T15=5,900台/日、K=0.68
都道府県道石浦陣越下切線	A11-008		地	岐阜県	—	改築	500	5.0	8.5	1.0	2.0	0.0	0.0	1,200	R6~R7	現道拡幅	—	奥飛騨温泉郷	飛騨古川まつり会館	未改良区間(L=500m)の解消	全線完成供用L=500m(R8.3予定)	T15=9,130台/日、K=1.01

(参考)

<関連事業>																						

※本調査にはア)交付対象事業「道路」(補助国道、地方道、街路)、イ)関連事業の道路のすべてを記載すること。

注1)道路名は、国道、主要地方道、一般都道府県道、市町村道の別が分かるように記載すること。

注2)国、地、街、他の別を記載。ただし、国:国道、地:地方道、街:街路、他:いずれにも該当しないもの。

注3) <関連事業>については、通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注4)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注5) **要素事業毎に、どの拠点施設を経る人流・物流の経路(他の拠点施設、I.C等)途上の事業なのかを明確にすること。**

また、別添「確認様式4 道路概要図」に要素事業及び拠点施設の位置関係が分かるように図示すること。

要素事業にはそれぞれ上表の番号(整備計画の番号)を付すこと。また、拠点施設については、それぞれ施設名、所在地、施設数、入込客数などの概要を記載すること。

注6)5で記載した拠点施設間で行われる当該要素事業による整備効果を簡潔に記載すること。記載にあたっては、「所要時間が〇分→〇分に約〇分短縮」、「拠点施設間唯一の線形不良(R<〇)の解消」など具体的に記載すること。

注7)当該要素事業の供用等(部分供用含む)を記載すること。記載にあたっては、「全線完成供用L=〇m(R〇、〇予定)」、「部分供用L=〇m(R〇、〇用途)」など、供用形態、区間延長、供用時期を記載すること。

注8)備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(台/日)、混雑度等を記載。また、別添「確認様式4 道路概要図」にも主要ポイントの交通量を記載すること(要素事業箇所直近は必須)。

(例)・道路改築:交通量(台/日)、混雑度等 ※交通量は最新のセンサスデータを用いて記載すること。

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

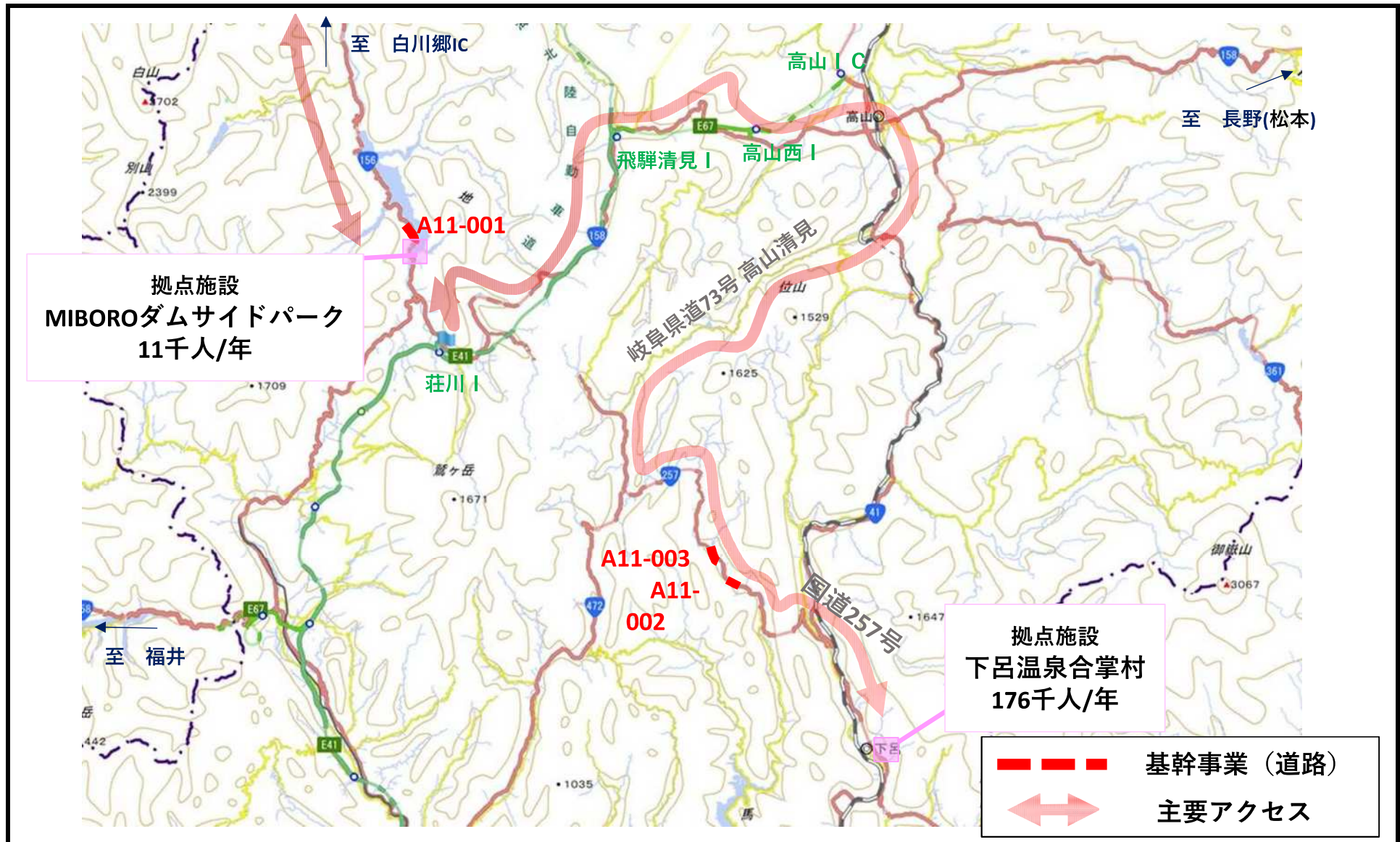
<関連事業>の備考には、当該関連事業と組み合わせる効率的・効果的に実施する交付金事業の道路名・区間についても記載。

※不足する場合は適宜行を追加すること。

※地域高規格道路、連続立体交差事業等の交付期間(3~5年)内に一定の成果をあげることのできない大規模な事業は、交付対象外。

(確認様式4)

岐阜・富山地域(岐阜県) 事業実施箇所図



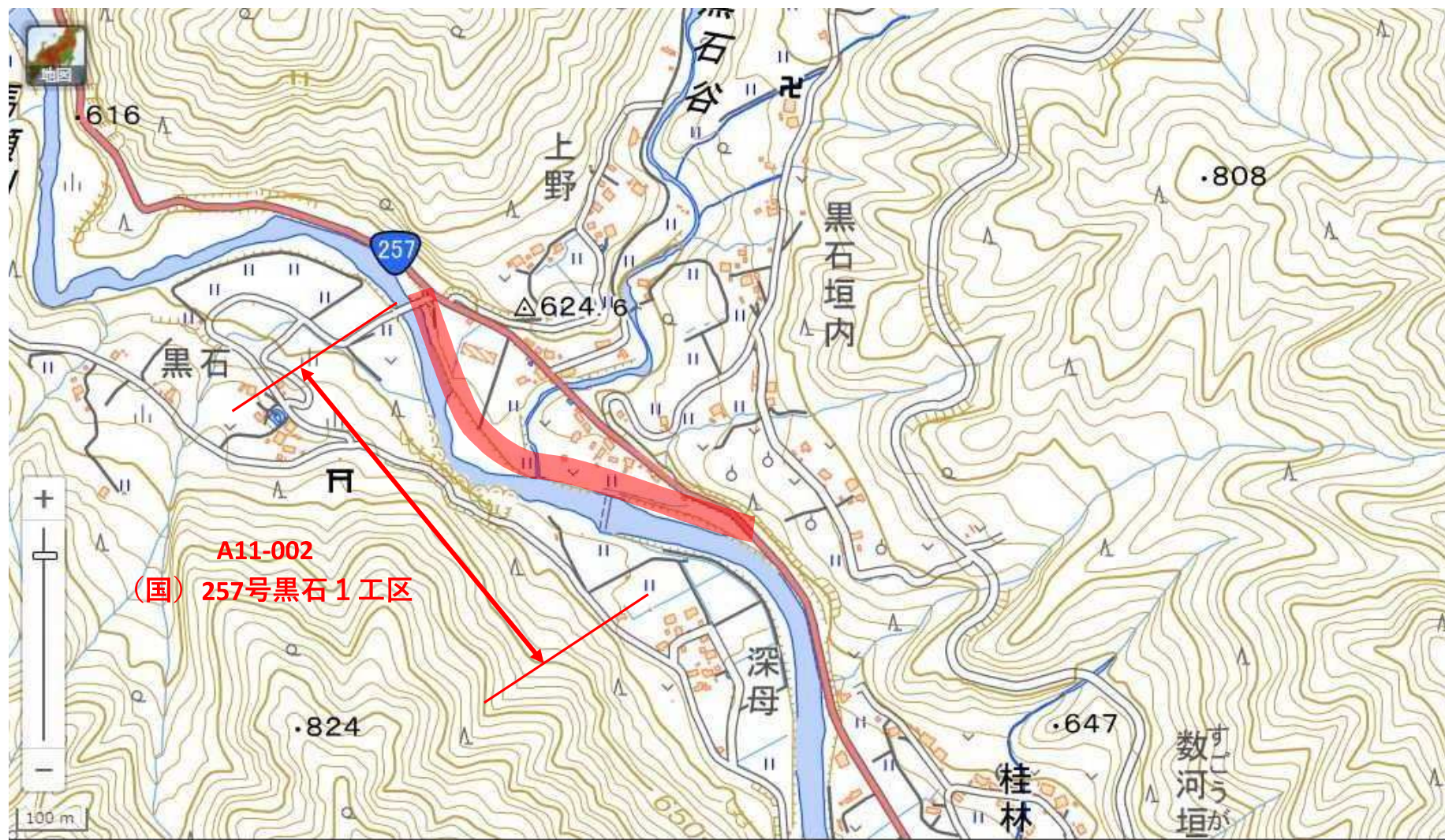
拠点施設
MIBOROダムサイドパーク
11千人/年

拠点施設
下呂温泉合掌村
176千人/年

基幹事業 (道路)
主要アクセス

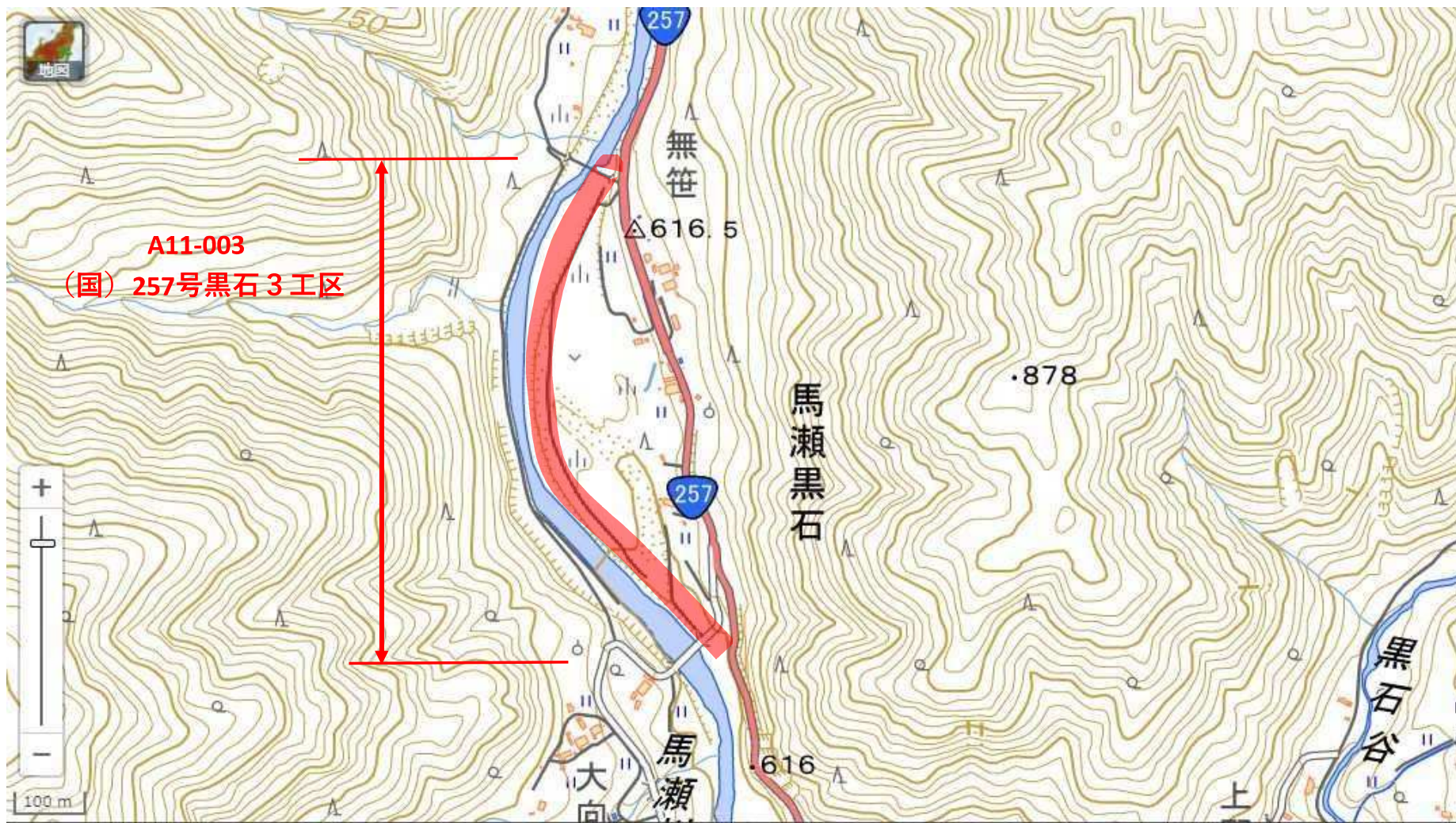
(確認様式4)

岐阜・富山地域(岐阜県) 事業実施箇所図(詳細図)



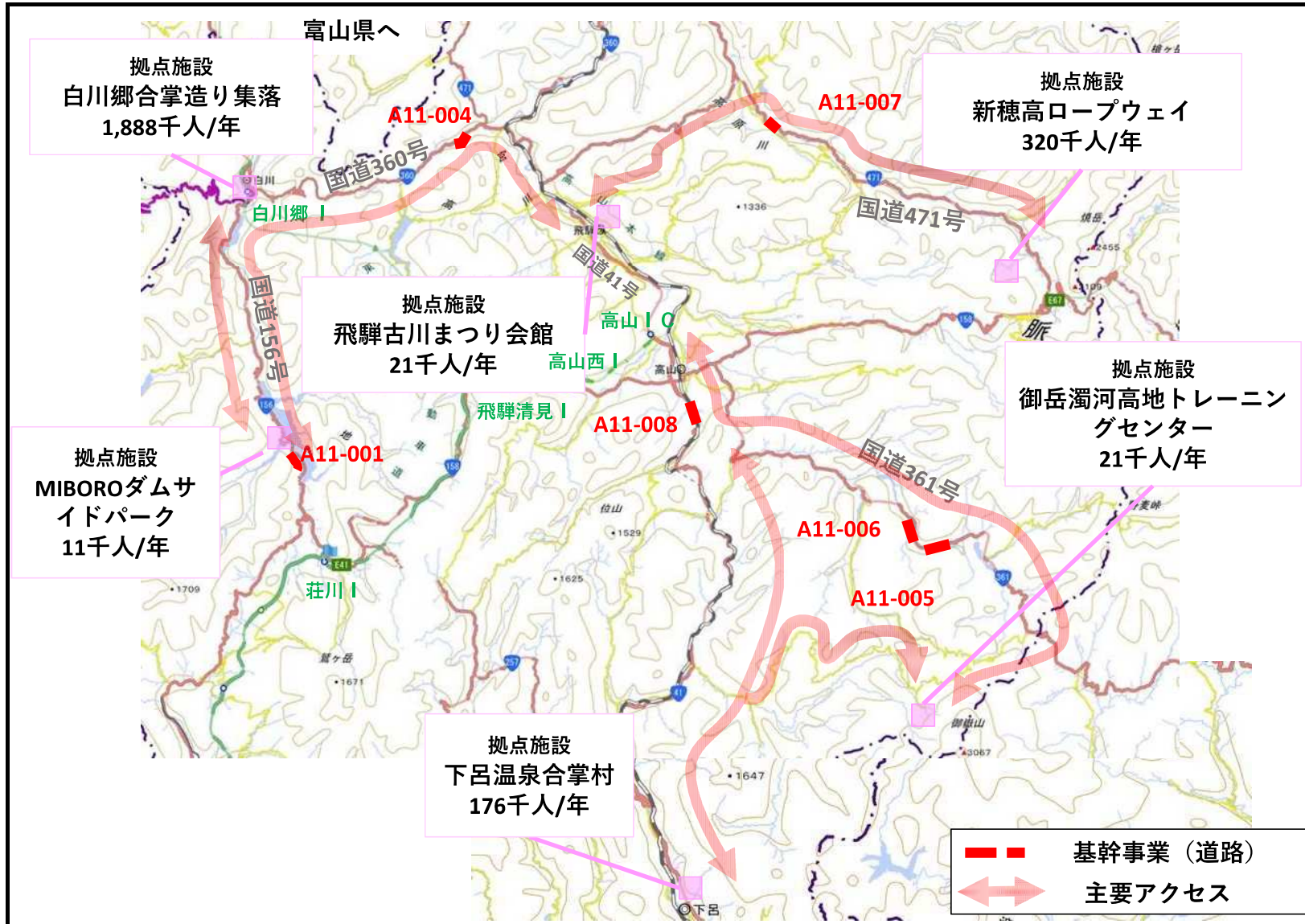
(確認様式4)

岐阜・富山地域(岐阜県) 事業実施箇所図(詳細図)



(確認様式4)

岐阜・富山地域(岐阜県) 事業実施箇所図



(確認様式4)

岐阜・富山地域(岐阜県) 事業実施箇所図(詳細図)

